

表1 全体

A: 当てはまる B: やや当てはまる C: あまり当てはまらない D: 当てはまらない

評価内容		全 体			
		A	B	C	D
1	授業の声の大きさや話し方は適切である	2353	893	39	12
		(71%)	(27%)	(1%)	(0%)
2	授業の進度(スピード)はちょうどよい	2066	1091	116	24
		(63%)	(33%)	(4%)	(1%)
3	板書は見やすく適切である	1859	982	141	23
		(62%)	(33%)	(5%)	(1%)
4	授業の説明は分かりやすい、難しい内容には工夫をした授業をしている	1964	1174	133	26
		(60%)	(36%)	(4%)	(1%)
5	生徒によく質問をするなど、生徒の理解を確認しながら進めている	2040	1133	102	23
		(62%)	(34%)	(3%)	(1%)
6	授業の始まりと終わりの時間を守っている	2285	926	71	9
		(69%)	(28%)	(2%)	(0%)
7	授業中(特に実験実習)の事故防止に対する安全指導に心がけている	1182	417	19	5
		(73%)	(26%)	(1%)	(0%)
1	授業の始まりには、教材や実習服・体操服等の準備が来ている	2410	818	61	6
		(73%)	(25%)	(2%)	(0%)
2	授業中は私語も居眠りもしていない	1566	1424	269	34
		(48%)	(43%)	(8%)	(1%)
3	ノートをきちんと取っている	2106	996	158	31
		(64%)	(30%)	(5%)	(1%)
4	提出物は期限を守ってきちんと提出している	1829	915	193	37
		(61%)	(31%)	(6%)	(1%)
5	予習・復習をきちんとしている	695	1203	696	397
		(23%)	(40%)	(23%)	(13%)
6	授業に積極的に取り組んでいる	1436	1550	279	28
		(44%)	(47%)	(8%)	(1%)
合計		23791	13522	2277	655
		(59%)	(34%)	(6%)	(2%)

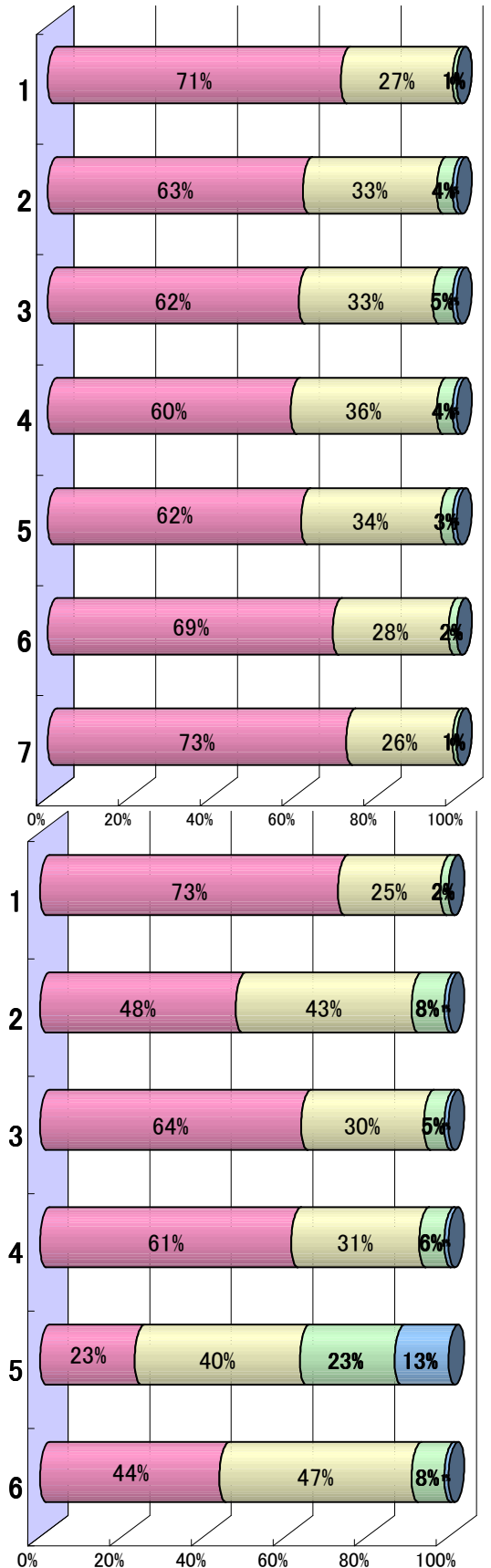


表2 学年別

A: 当てはまる B: やや当てはまる C: あまり当てはまらない D: 当てはまらない

評価内容	1年				2年				3年			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
1 授業の声の大きさや話し方は適切である	866 (71%)	336 (27%)	20 (2%)	3 (0%)	768 (67%)	355 (31%)	14 (1%)	7 (1%)	719 (77%)	202 (22%)	5 (1%)	2 (0%)
2 授業の進度(スピード)はちょうどよい	756 (62%)	419 (34%)	45 (4%)	5 (0%)	668 (58%)	413 (36%)	49 (4%)	13 (1%)	642 (69%)	259 (28%)	22 (2%)	6 (1%)
3 板書は見やすく適切である	689 (62%)	379 (34%)	49 (4%)	3 (0%)	607 (58%)	65 (35%)	14 (6%)	14 (1%)	563 (68%)	238 (29%)	27 (3%)	6 (1%)
4 授業の説明は分かりやすい、難しい内容には工夫をした授業をしている	712 (58%)	457 (37%)	50 (4%)	6 (0%)	644 (56%)	428 (37%)	59 (5%)	12 (1%)	608 (65%)	289 (31%)	24 (3%)	8 (1%)
5 生徒によく質問をするなど、生徒の理解を確認しながら進めている	733 (60%)	441 (36%)	41 (3%)	10 (1%)	670 (59%)	419 (37%)	46 (4%)	10 (1%)	637 (69%)	273 (29%)	15 (2%)	3 (0%)
6 授業の始まりと終わりの時間を守っている	796 (65%)	385 (32%)	31 (3%)	7 (1%)	762 (67%)	344 (30%)	35 (3%)	2 (0%)	727 (78%)	197 (21%)	5 (1%)	0 (0%)
7 授業中(特に実験実習)の事故防止に対する安全指導に心がけている	449 (72%)	162 (26%)	9 (1%)	1 (0%)	391 (69%)	168 (30%)	6 (1%)	4 (1%)	342 (79%)	87 (20%)	4 (1%)	0 (0%)
1 授業の始まりには、教材や実習服・体操服等の準備が来ている	898 (73%)	295 (24%)	29 (2%)	0 (0%)	778 (68%)	345 (30%)	18 (2%)	3 (0%)	734 (79%)	178 (19%)	14 (2%)	3 (0%)
2 授業中は私語も居眠りもしていない	645 (53%)	491 (40%)	82 (7%)	2 (0%)	431 (38%)	573 (50%)	120 (10%)	20 (2%)	490 (53%)	360 (39%)	67 (7%)	12 (1%)
3 ノートをきちんと取っている	820 (67%)	356 (29%)	44 (4%)	4 (0%)	651 (57%)	394 (35%)	79 (7%)	17 (1%)	635 (69%)	246 (27%)	35 (4%)	10 (1%)
4 提出物は期限を守ってきちんと提出している	671 (61%)	339 (31%)	90 (8%)	2 (0%)	579 (55%)	367 (35%)	77 (7%)	26 (2%)	579 (70%)	209 (25%)	26 (3%)	9 (1%)
5 予習・復習をきちんとしている	240 (21%)	446 (40%)	340 (30%)	95 (8%)	175 (17%)	396 (38%)	249 (24%)	222 (21%)	280 (34%)	361 (44%)	107 (13%)	80 (10%)
6 授業に積極的に取り組んでいる	552 (45%)	589 (48%)	79 (6%)	2 (0%)	381 (33%)	592 (52%)	153 (13%)	16 (1%)	503 (54%)	369 (40%)	47 (5%)	10 (1%)
合計	8827	5095	909	140	7505	4794	970	366	7459	3268	398	149

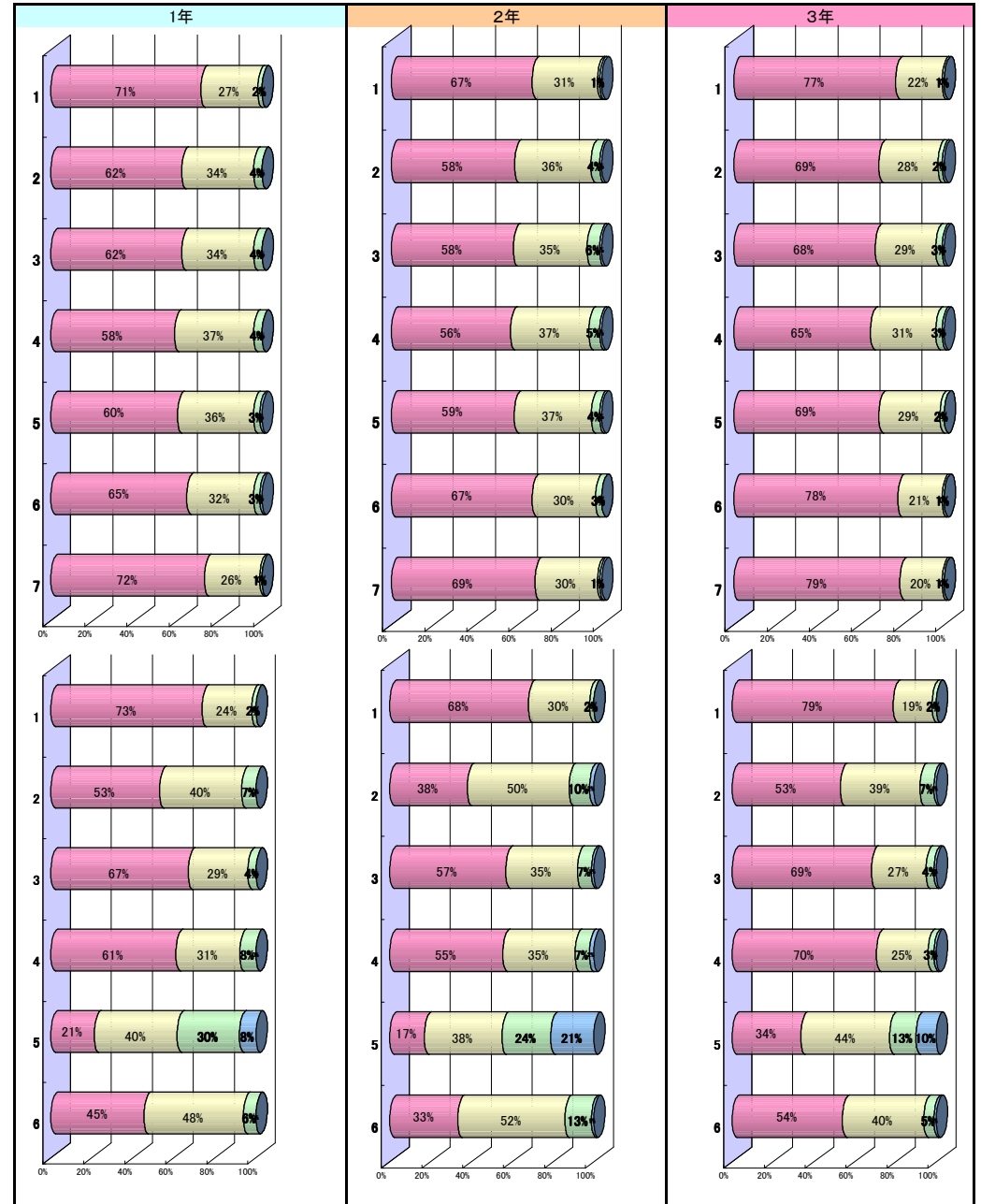


表3 授業アンケート 1回と2回の%の差

A:当てはまる B:やや当てはまる C:あまり当てはまらない D:当てはまらない

	評価内容	1年				2年				3年				全 体				
		A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	
1	授業の声の大きさや話し方は適切である	1%	-1%	0%	0%	-3%	4%	0%	0%	4%	-3%	0%	-1%	0%	0%	0%	0%	-1%
2	授業の進度(スピード)はちょうどよい	0%	1%	0%	-1%	-5%	4%	0%	0%	7%	-4%	-3%	-1%	1%	1%	0%	0%	
3	板書は見やすく適切である	1%	-1%	1%	0%	-4%	3%	2%	0%	10%	-6%	-2%	-1%	1%	-1%	1%	0%	
4	授業の説明は分かりやすい、難しい内容には工夫をした授業をしている	5%	-6%	1%	-1%	0%	-2%	1%	0%	6%	-4%	-2%	-1%	4%	-3%	0%	0%	
5	生徒によく質問をするなど、生徒の理解を確認しながら進めている	4%	-4%	0%	1%	1%	1%	-1%	0%	9%	-6%	-2%	-1%	4%	-3%	-1%	0%	
6	授業の始まりと終わりの時間を守っている	2%	-2%	0%	1%	3%	-1%	0%	-1%	4%	-3%	0%	0%	2%	-2%	-1%	-1%	
7	授業中(特に実験実習)の事故防止に対する安全指導に心がけている	3%	-3%	-1%	0%	0%	1%	1%	0%	6%	-6%	0%	0%	3%	-2%	0%	-1%	
1	授業の始まりには、教材や実習服・体操服等の準備が出来ている	-3%	1%	1%	0%	-2%	1%	1%	0%	4%	-5%	1%	0%	-1%	0%	1%	0%	
2	授業中は私語も居眠りもしていない	-9%	6%	3%	0%	-6%	1%	4%	1%	-2%	-1%	3%	1%	-6%	2%	3%	0%	
3	ノートをきちんと取っている	-7%	5%	3%	0%	-6%	4%	3%	0%	2%	-3%	0%	1%	-4%	2%	2%	1%	
4	提出物は期限を守ってきちんと提出している	-4%	1%	3%	-1%	-7%	5%	1%	0%	4%	-4%	-1%	0%	-3%	1%	1%	0%	
5	予習・復習をきちんとしている	1%	-5%	2%	1%	2%	9%	-7%	-4%	5%	-5%	1%	0%	2%	-1%	-1%	-1%	
6	授業に積極的に取り組んでいる	-3%	3%	0%	0%	-6%	3%	2%	0%	3%	-6%	2%	1%	-2%	1%	1%	0%	

# 平成20年度 第2回生徒による授業アンケート まとめ

平成20年10月実施

香川県立三豊工業高等学校

## 1 集計結果について総括

**表1 全体** 第1回と全体的な傾向はほぼ同じである。

(1) 授業評価・自己評価ともにAB合計で90%を越える高い評価である。

(2) 自己評価の項目については、

5「予習・復習をきちんとしている」A23% B40% 計63% は、特に低い。

次に評価の低い項目は

6「授業に積極的に取り組んでいる」A44% B47% 計91% であった。

**表2 学年別** についても第1回と全体傾向は同じである。

(3) 授業評価の部分、自己評価の部分ともに

2年が最も評価が低く、次に低いのが1年 3年生は評価が高い傾向がある。

## 表3 1回と2回との%の差

全体的に変動幅は大きくないものの、

授業評価の部分はD C B Aの方向(高い方向)へ変化しており

自己評価の部分はA B C Dの方向(低い方向)へ変化している。

学年別に見ると

3年生では 授業評価・自己評価ともにB A(高い方向)に変化している。

2年生の授業評価部分の

(1声の大きさ2スピード3板書)の評価が、他の学年と異なりA B(低い方向)に変化しているのが特徴的である。

2年生と1年生の自己評価部分の

(2私語居眠り3ノート4提出物)のAの評価の減少が-6%~-9%程度と大きな数字になっている。

## 2 各教科・各学科のまとめよりの抜粋

### 1 「生徒による授業アンケート」についての総括・分析

- ・ 授業評価においては、1回目と比べて、いずれの項目もA評価が増え、B、C評価が減少、Dは変わらないの結果となり、全体的には授業改善の成果がみられる。ただ、始業時刻の厳守の評価が相対的には低い。・食物や被服の実習を2時間続きで実施しており、休憩時間も実習を続けているからだそうである。
- ・ 生徒の自己評価では、1年生において学習意欲が減退している生徒が若干増えている。
- ・ 授業評価の結果を見る限り授業についておおむね満足しているという結果になっている。しかし、定期試験等の成績を見ると満足度や自己評価の結果とは必ずしも一致していない。自己評価は「当てはまる」が多いが、自分に甘い生徒が多いと思われる。
- ・ 生徒の「予習復習をきちんとしている」「授業中に私語・居眠りをしていない」「授業に積極的に取り組んでいる」の項目でAとした者が少なく、さらに学習意欲を喚起することが課題である。全体としては授業への集中度がやや下がったことが反映していると思われる。・予習復習をきちんとしている評価は、相対的に低い。
- ・ 要望等においては、「実験を増やして欲しい」という要望が1つあったが、それ以外はなかった。
- ・ **C評価の項目**については生徒の反応を見ながら、気をつけて進めていかなければならない。
- ・ 3割くらいの生徒が、声の大きさ、**授業のスピード**、板書の見やすさなどについて問題点を指摘しているが、大部分は満足している様である。)・「板書が見にくい」が多くある。板書や生徒への質問等の問題点が指摘された。

- ・ 専門教科においては専門性が高まるので、分りやすい言葉での説明をするための工夫が必要である。2年生では、専門性が高まり難しく感じる生徒がいる。

## 2 このアンケートの結果を受けて、授業改善に向けてどのように生かしていくか

- ・ 生徒の学習意欲・関心を高めるために、生徒の現状に即した動機付けや授業展開にいつそう努めていきたい。
- ・ すべての生徒に興味関心を持たせるための教材研究と授業展開の工夫。単調な授業にならないように、教える内容を精選し、見やすい板書を心がけたい。クラスの雰囲気はあまり明るくなく、居眠りをする生徒が多いので、興味を持てる授業にするためにもっと実験的な内容を増やしていきたい。生徒の反応を確認しながら、ゆっくりと説明をしていきたい。また、身近にある物質を素材にした実験を考案していきたい。話をする内容を減らしてもゆっくり分かりやすくしゃべらねばならないだろう。生徒にさせる作業等をもっと作り、頭を働かせる方策を考える。話に入ると早口になり、板書が一層汚くなるという状況をなかなか克服できない。教科の内容をこの6年の間にだんだん精選し、分かりやすく、要所では詳しくしてきたのは良かったと思う
- ・ 常に生徒に意見を聞きながら対処していくが、生徒には授業に集中するように指導していく。授業の内容の定着を少しでも高めるために、成績不振者に対するの指導や授業に対する集中力を向上させる方法を考えていきたい。成績不良の生徒には補習を行う。生徒の理解度を深めるために、こまめにチェックし理解不足の者に対する指導を行う。
- ・ 記入することでまとめられるプリントや資料を用意し、生徒自身が活動し理解できる時間を多くしたい。第一回でも記入しましたが、予習・復習をしていない割合が高く、特に、2年生が高くなっている。1年次4単位、2年次2単位であることも影響していると思うが、この割合を少しでも低くできるように小テスト(8回実施)を活用していきたい。予習・復習ができていない生徒の割合も高い。適量の課題を出すことと、授業外でも継続して理科の学習が行えるような課題研究的な課題を出すことも引き続き検討していきたい。
- ・ 板書の工夫、実験を積極的に取り入れる。板書の書き方を改善する。板書の工夫や、プリントなどで改善を試みたい。
- ・ 居眠り・私語の常習者の指導が課題。
- ・ 授業の始まりの時刻が守り切れていない。休み時間に移動することを心掛ける。
- ・ 実態を把握できず、矛盾している言動をとる生徒もいる。教師も、1人で、準備・授業・片付けと奮闘している。他人への思いやりを持った生徒が増えてくれるためにはどのようにしたらよいか今後の課題である。

## 3 このアンケートの内容や実施時期などに対する意見や要望

- ・ 内容、実施時期とも現在のままでよいと思います。(現行でよい。この時期で良い。)
- ・ 悉皆調査ではなく抽出でもよいのではないか。アンケート集計を抽出(クラス10名)でも結果は出ると思う。
- ・ 生徒の自己評価には明らかに実態と異なるものも少なからずあり、アンケートの信頼性に疑問がある。従って、A～Dで回答させるよりは、記述式で「授業に対する要望」を書かせる方が、より授業に活かせるのではないか。
- ・ 内容は検討して、項目を減らしてもよいのではないか。